

横浜市技能文化会館に関する平成22年度事業報告書

1. 指定管理者としての基本的考え方

ファンケルホームライフは、横浜市技能文化会館の（以下「会館」という）の指定管理者として、会館の設置目的の実現、「市民サービスの向上」「経費の削減」「建物の良好な維持管理」「施設の活性化」という指定管理者制度の趣旨を十分に反映した取り組みに加え、利用者サービスの向上、会館管理面では経費の削減や人員の効率的配置等の管理運営業務に於ける経営努力を継続的に行なっていく事を基本的な考え方と致します。

2. 平成22年度(指定管理期間5年目)の事業方針

初心に返り会館設立目的に従い職員ひとりひとりが責任感ある行動により市民の皆様の信頼度向上を図ります。また、サービス向上と経費削減について指定管理者制度導入前後の検証を行いません。

- ・ 会館の設立目的に従った市民利用の促進
- ・ 安心して利用できる環境づくり

H22年度の稼働率は63%となりました。7月及び8月の猛暑による利用率低下(前年8%ダウン)や3月震災によるキャンセルの影響を受けましたが、平年並みの数値は維持できました。

最終年となりますので、H18年度～H22年度までの5年間、指定管理者制度の目的であるサービスの向上とコスト削減についての取り組みを報告します。

A サービス向上

① 貸施設受付窓口の4階から1階へ移転 利便性向上のため及び匠プラザへの誘導

② 会館美化

インフォメーションカウンター大理石張替、1階天井及び鉄部塗装、8階研修室カーペット交換及び7階会議室カーペット化、共有部の壁紙張替、タイル床剥離、工房・料理室特別清掃、倉庫及び窯場の整理、近隣施設関係者の放置自転車対策、花壇整備(坪庭、花の定期植え替え)、玄関風除室の花設置による美化

③ メールフォーム開設(お問い合わせ、市民教室、職人から学ぶ講座各窓口)

職人から学ぶ講座では567名中250名44%がメールフォーム申込に切り替わりました。

④ 各階トイレのウォシュレット化

⑤ 貸施設附帯設備更新

使用に支障をきたしたまま引き継いだ簡易マイク設備、PCプロジェクター、音響機器、譜面台、厨房食器及び器具の更新による利便性の向上

⑥ 1階エレベーターホール掲示板の会館定期利用者への提供

サークル、勉強会等会館を利用相互のコミュニケーション創出場として開放

⑦ 携帯電話基地局設置(NTTドコモ、KDDI)による利便性向上

⑧ AED設置 1階玄関ホール及び2階共有部の2台

② ヨコハマ ジュエリー・アクセサリデザインコンテスト開催

募集6月から、審査会10月27日（水）、表彰式11月13日（土）

将来の技能職を担う人材育成による作品発表の機会創出、技能文化の役割を担う建物としての地位の向上及び活気付けを目的とし第4回ヨコハマ ジュエリー・アクセサリデザインコンテストを開催しました。

第4回コンテストは、作品及びデザイン画合計114点の出品があり、専門学校生・高校生・一般と参加者の裾野が広がりました。作品自体も独自のアイデアにより製作されていました。

グランプリ、優秀賞、審査員特別賞、経済観光局長賞、奨励賞、佳作各賞に対し、38名が受賞し11月13日（日）表彰式とパーティーを執り行いました。

公募提案で技能五輪出場を目的に始めたコンテストは、昨年の応募者から神奈川技能五輪出場者が輩出されました。会館として金銭的な支援も行い、みごと敢闘賞を受賞しました。

技能職の将来を担う若者育成、プロへの過程での作品発表の場創出に役立ったと考えます。

H21年度 応募数作品部門46点・デザイン画部門53点

③ 匠プラザの有効活用

a マイスターコーナー（2名毎の4ヶ月更新）

4月～7月 竹細工、ステンドグラス、8月～11月 建具、畳
12月～2月 陶磁器、かけはぎ

b 職業工程展示 横浜と関係が深い職種をテーマに紹介しました。

横浜竿、豆腐、ワイシャツ、スカーフ（スクリーン印刷）を紹介しました。

c 神奈川県技能五輪大会パネル展示

d 神奈川県博物館協会2010夏休みミュージアム・クイズラリー

e 夏休み子どもアドベンチャー コースター作成及び鉋掛け体験

f 職人から学ぶ講座、技能体験イベント会場

講座：表札、時計、裁縫、ネイルアート、クリーニング、花卉装飾

体験イベント：篆刻、写真、工作、宝飾、ステンドグラス

g 第4回ヨコハマ ジュエリー・アクセサリデザインコンテスト作品展示

横浜市民賞決定の為の市民投票

④ 当社運営管理上の修繕（60万円未満）への技能職活用

2階多目的ホール内扉・トイレ扉の交換工事、和室障子張替・襖補修・畳張替、館内サイン変更等の修繕について、横浜市技能職団体連絡協議会会員へ発注しました。技能職者の技を発揮していただくことができました。

(2) 雇用による就業の機会の確保事業

① 相談事業

相談事業では、毎月休館日年12日相談窓口を休まず開設しました。木曜キャリア・カウンセリングと土曜法律相談については、1日1コマの相談枠を増設し各50名分の支援体制を設けました。

また、セミナーは電話・FAX以外の窓口として、メールフォームを開設し時間外対応・受付完了返信等のお利用者利便性の向上を図りました。

② セミナーの充実

a ニートの親支援講座7月・11月・2月3回開催、合計27名参加

- b 労働法基礎講座（全8日）9月・2月2回開催、全回数述べ400名参加
- c 中高年再就職支援セミナー6月・12月2回開催、合計30名参加
- d 若者就職フォーラム12月開催、27名参加となりました。

労働法基礎講座については、日常相談業務に携わる特定社会保険労務士、産業カウンセラーが講師を務めました。

しごと支援センターへ期待される傾向の表れとして、労働基準監督署やハローワークからしごと支援センターを紹介された方の利用も多くなりました。

③ 情報コーナーの見直し

労働関係の図書館からパソコン利用による就業・労働支援施設化への変化のため、パソコン2台増設やパソコン保守管理委託を行いパソコン機能・安全性の向上を図りました（H18年度パソコン3台設置、H22年度7台設置）。

H18年度は年間3,800名の利用者がH22年度には年間10,154名と大幅に増加しました。主な利用用途は就業活動書類作成、相談内容の議事録等のパソコン利用です。

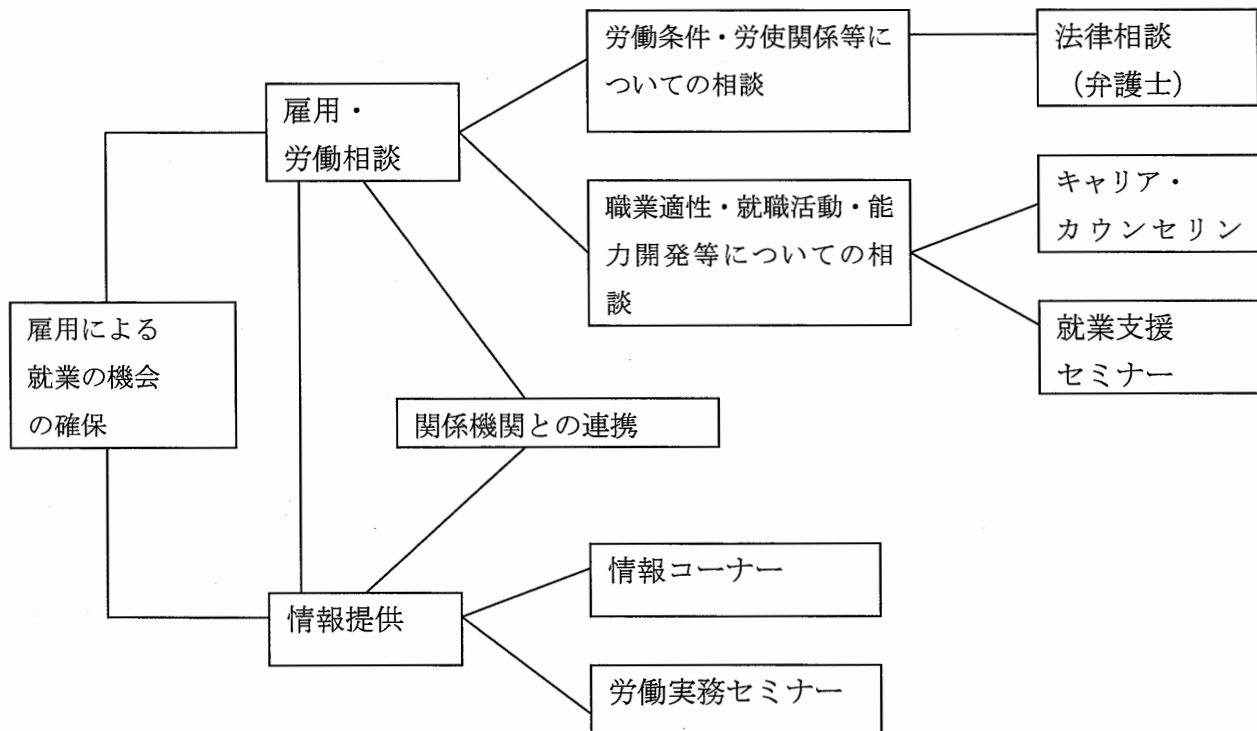
これは、労働相談・就業相談と書類作成・情報収集がしごと支援センター内で一括してでき利用者満足度が向上した結果と考えます。

④ 関係機関との連携

下記関係機関等との情報交換、相互支援、施設や備品の協同利用を行ない、より適切な相談対応ができるように関係機関との連携、協力を図りました。

- ・ 若者就職支援相談連絡会（事務局：かながわ若者就職支援センター）
- ・ シニア・ジョブスタイルかながわ
- ・ 労働相談担当者連絡会議（事務局：神奈川県商工労働部労政福祉課）
- ・ 母子寡婦自立支援センター法律相談業務の連携として、月3日会館施設を提供しました。

* 業務メニュー体系



(3) 勤労者の福祉の増進及び文化の向上事業

市民教室は、以下の通り絵画、書道、絵手紙、陶芸、ダンス等 39 講座、授業回数 549 回、受講者 361 名となりました。内訳は以下の通りです。

- | | |
|--------------------|---------------------|
| a 水彩画 (初級、中級 4 講座) | 授業数 96 回、受講者数 72 名 |
| b アクリル絵画 (1 講座) | 授業数 24 回、受講者数 15 名 |
| c 油絵 (1 講座) | 授業数 24 回、受講者数 20 名 |
| d かな書道 (2 講座) | 授業数 48 回、受講者数 37 名 |
| e 百人首を書く (1 講座) | 授業数 23 回、受講者数 24 名 |
| f 漢字書道 1 講座) | 授業数 24 回、受講者数 17 名 |
| g 絵手紙 (2 講座) | 授業数 24 回、受講者数 65 名 |
| h 陶芸 (2 講座) | 授業数 86 回、受講者数 30 名 |
| I 社交ダンス (1 講座) | 授業数 48 回、受講者数 26 名 |
| j フラダンス (4 講座) | 授業数 152 回、受講者数 55 名 |

平成 21 年度 34 講座、平成 20 年度 37 講座、平成 19 年度 37 講座、平成 18 年度 21 講座
*講座期間は 1 年、半年、3 ヶ月として開講数を講座実施数とする。

(4) 会館の管理運営

① 職員の育成

- a 朝礼にて「職場の教養」を朗読
- b 職員研修：11 月横浜市研修会出席 2 名

② 環境整備 (内装工事実施による美観維持、経年劣化の目立つ什器備品の更新)

- a 5 S 活動 (整理、整頓、清潔、清掃、躰) として、1 階、7 階、8 階倉庫や 602 工房、窯場の整理整頓を実施しました。
- b 遵法性適合として、技能文化会館が関係する法規一覧表を作成管理しました。グループ会社 I S O 監査により確認を行いました。

③ ホームページの有効活用

メールフォームを開設しました。お問い合わせ、市民教室、職人から学ぶ講座、しごと支援センターのセミナー申込と 4 つの窓口とし、時間外でも利用者の要望を受け付ける様改善しました。

④ 自主財源の確保

* 運営体系 * 1 日 8 時間勤務で換算

インフォメーションカウンター配置 1 名は 1 日 8 時間に満たない為に記載除外。

館長	1 名	貸施設担当	6 名
管理事務	2 名	しごと支援センター 相談員	3 名
経理担当	1 名	情報コーナー	1 名
技能講座担当	1 名	駐車場担当	2 名
設備担当	1 名	警備担当	1 名 (但し 16 時～23 時)

3 月 11 日 (木) 発生した東日本大震災 (横浜震度 5 強) においては、職員の積極的な行動により当日の 1 階喫茶室解放や翌日以降の平常運営、条例に基づく返金等問題なく対処できました。

(5) 施設及び設備の維持管理に関する業務

① 委託業務

次の業務について委託します。委託業務を依頼した会社は、建物の総合的な維持管理を行う会社です。そのグループ内の専門家やネットワークを会館で行う各種事業に活用していきます。

- | | |
|------------------|-----------------------|
| (ア) 設備管理業務 | (カ) 自動ドア保守点検業務 |
| (イ) 警備業務 | (キ) 電動シャッター保守点検業務 |
| (ウ) 清掃業務 | (ク) 多目的ホール設置業務 |
| (エ) 室内環境測定業務 | (ケ) 駐車場管理業務 |
| (オ) エレベーター保守点検業務 | (コ) その他業務 601 料理室特別清掃 |

特定建築物定期検査、日常・定期清掃を中心とした建物保守年間計画は、予定通り完了しました。また、特定建築物年間管理計画書（4月申告、翌年4月実績報告）、ごみ減量化・資源化計画書（5月申告、4月実績報告）については対応済みです。

5年の管理期間中に平成17年度横浜市実施建物診断の改善を要するA判定やH18年度以前の遵法性不適合案件については是正し、責任区分外については横浜市へ是正申請を行いました。

H22年度是正申請は①隣地境界杭、②排水升、③法改正によるハロン消火設備改修の3件です。事故報告は、駐車場物損2件となり横浜市建築局へ是正対応を7月に要請しました。

② 保険契約

基本協定書に従い、施設賠償責任保険、盗難保険、レジャー保険等の損害保険を付保しました。6月駐車場物損事故及び和室での怪我に対し適用しました。

(6) その他

① 目的外使用許可に関する事業

会館利用者へのサービス向上の為、以下のサービスを提供しました。

- ・ 1階喫茶
- ・ 自動販売機(地下1階2台、2階2台、7階1台、8階1台、駐車場1台の合計7台)
- ・ 公衆無線LAN (NTTコミュニケーションズ社ホットスポット)
- ・ 屋外広告 (しごと支援センター広告掲載)
- ・ 携帯電話基地局装置 (地下1階2基、NTTドコモ社、KDDI社)

② 広報

- ・ 会館運営 ホームページ、リーフレット、専用封筒、団扇、会館設置ちらし
- ・ 市民教室 地域情報誌 (タウンニュース、ぱど)
- ・ 技能職イベント 地域情報誌 (タウンニュース)
- ・ こどもイベント 会館名入り団扇、メジャー
- ・ 労働実務セミナー 商工会議所登録1500社人事担当へダイレクトメール

横浜マイスターまつり・野毛大道芸・神奈川県技能五輪といった技能に関係するイベントへの協賛を行いました。

平成22年度収支決算書

【収入】

(単位:千円)

科 目	年間予算	上期実績	下期実績	合計	計画比
市が払う経費	121,600	60,800	60,800	121,600	100.00%
利用料金収入	65,900	32,330	30,449	62,779	95.27%
市民教室、職人から学ぶ講座	18,000	5,021	10,686	15,707	87.26%
その他収入	4,483	2,218	1,798	4,009	89.43%
合 計	209,983	100,369	103,733	204,103	97.20%

【支出】

科 目	年間予算	上期実績	下期実績	合計	計画比
人件費	97,397	48,040	49,925	97,965	100.58%
管理費	16,279	8,140	8,140	16,279	100.00%
事務費1	20,300	9,373	10,207	19,580	96.45%
事務費2	5,600	4,101	4,538	8,638	154.26%
事業費	15,570	4,695	11,232	15,927	102.29%
広告費	6,940	3,121	2,313	5,433	78.29%
駐車場運営費	13,403	6,393	6,573	12,966	96.74%
委託料	24,260	11,885	11,943	23,828	98.22%
保守点検費	2,786	1,393	1,393	2,786	100.02%
その他支出	7,257	1,594	5,535	7,129	98.24%
会 費	190	77	83	160	84.00%
合 計	209,982	98,812	11,879	210,692	100.34%